

滋賀県立農業大学校シラバス 601

講座名	果樹総論	担当	県農業技術職員	実務経験	有	無
-----	------	----	---------	------	---	---

科目の種別	教養	共通	専攻	対象学生	1年	2年	就農
学期	前期	後期		時間数（単位数）	16時間	（1単位）	
授業形態（○記入）	講義	演習	実験	実習	見学		

科目内容（教育研修計画より転記も可）

果樹園芸の概要と生育過程における生理特性（開花結実と果実肥大、果樹の生長周期、整枝、剪定、繁殖）

授業内容（4時間を1回分とした内容）

第1回（4時間）	果樹生産の動向、果樹の成長と果実生産
第2回（4時間）	各器官の成長と果実生産
第3回（4時間）	果樹栽培適地、年間の栽培管理
第4回（4時間）	果樹栽培適地、年間の栽培管理

使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入

果樹園芸学の基礎 農文協

到達目標

果樹全般に共通する栽培適地の条件（気象・土壌・地形）や一年間の生育などについて理解し、果樹の栽培管理に関する基本的な事項を習得する。

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）

☐記述テスト ☐出欠状況 ☐授業態度

評価基準

本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

滋賀県立農業大学校シラバス 602

講座名	ナシ栽培	担当	県農業技術職員	実務経験	有	無
科目の種別	教養 共通 専攻	対象学生	1年 2年 就農			
学期	前期 後期	時間数（単位数）	32時間（2単位）			
授業形態（○記入）	講義	演習	実験	実習	見学	

科目内容（教育研修計画より転記も可）

ナシの品種、生理特性、栽培管理、経営上の特徴、先進地の事例紹介

授業内容（4時間を1回分とした内容）

第1回（4時間）	講義	原産と来歴、適地とその選択、経営上の特徴
第2回（4時間）	講義	結果習性、花芽分化、栽培管理（摘らい・摘果・授粉・誘引）
第3回（4時間）	講義	樹形、棚栽培の特性、主要品種の結果枝の特性
第4回（4時間）	校外学習	彦根梨生産組合の概要の理解
第5回（4時間）	講義	土づくり、せん定、
第6回（4時間）	実習	幸水のせん定
第7回（4時間）	実習	豊水のせん定
第8回（4時間）	講義	新技術、先進地事例の紹介

使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入

以下の文献等を参考に自作資料

- ・果樹園芸学の基礎 農文協
- ・ナシをつくりこなす 品種に合わせて早期成園化 農文協

到達目標

ナシ栽培に必要な基本的事項の理解と習得を促し、ナシ栽培に関心を持ってもらう。

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）

- 記述テスト ○出欠状況 ○提出物の有無と内容
- 授業態度

評価基準

本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

滋賀県立農業大学校シラバス 603

講座名	ブドウ栽培	担当	県農業技術職員	実務経験	有	無
-----	-------	----	---------	------	---	---

科目の種別	教養 共通 専攻	対象学生	1年 2年 就農
学期	前期 後期	時間数（単位数）	32時間（2単位）
授業形態（○記入）	講義 演習 実験 実習 見学		

科目内容（教育研修計画より転記も可）

ブドウの生理、栽培方法等の基礎知識を学ぶとともに、栽培する上で必要な技術の習得を図る。（ブドウの品種、生理特性、栽培管理、経営上の特徴、先進地の事例紹介）

授業内容（4時間を1回分とした内容）

第1回（4時間）	講義：品種と生育特性
第2回（4時間）	講義：休眠期から開花結実の管理
第3回（4時間）	見学：県内視察（ブドウ生産者）
第4回（4時間）	講義：果粒肥大期～収穫期の管理
第5回（4時間）	講義：施肥と土づくり
第6回（4時間）	講義：整枝剪定
第7回（4時間）	実習：整枝剪定
第8回（4時間）	講義：生理障害と対策

使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入

葡萄の郷から～おいしいブドウのできるまで～（社）山梨県果樹園芸会

到達目標

- ブドウの品種について基礎的な知識が身についている。
- ブドウの生理生態について基礎的な知識が身についている。
- ブドウ栽培における基礎的な知識や栽培技術が身についている。
- 県内におけるブドウの産地形成や経営について理解ができています。

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）

- 記述テスト ○出欠状況 ○提出物の有無と内容
- 授業態度

評価基準

本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

滋賀県立農業大学校シラバス 604

講座名	モモ栽培	担当	県農業技術職員	実務経験	有 無
科目の種別	教養 共通 専攻	対象学生	1年 2年 就農		
学期	前期 後期	時間数（単位数）	32時間（2単位）		
授業形態（○記入）	講義 演習 実験 実習 見学				

科目内容（教育研修計画より転記も可）

モモの品種、生理特性、栽培管理、経営上の特徴、先進地の事例紹介

授業内容（4時間を1回分とした内容）

第1回（4時間）	モモ安定生産の基本と経営
第2回（4時間）	発芽・開花結実期の管理
第3回（4時間）	幼果期から新梢伸長期の管理
第4回（4時間）	果実肥大成熟期の管理
第5回（4時間）	貯蔵養分の蓄積と土壌管理
第6回（4時間）	モモ栽培技術と現地見学
第7回（4時間）	整枝剪定作業
第8回（4時間）	重要病虫害と障害対策

使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入

基礎からわかるおいしいモモ栽培（農文協：富田晃）

到達目標

- モモの生理生態について基礎的な知識が身についている。
- モモの栽培についての基礎的な知識や栽培技術が身についている。
- モモの産地形成や経営について理解ができている。

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）

- 記述テスト ○出欠状況 ○提出物の有無と内容
- 授業態度

評価基準

本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

滋賀県立農業大学校シラバス 605

講座名	カキ栽培	担当	県農業技術職員	実務経験	☒ 有	☐ 無
-----	------	----	---------	------	---------------------------------------	----------------------------

科目の種別	教養 共通 ☒ 専攻	対象学生	☒ 1年 ☐ 2年 就農
学期	前期 ☒ 後期	時間数（単位数）	16時間（1単位）
授業形態（○記入）	☒ 講義	演習	実験 ☒ 実習 ☒ 見学

科目内容（教育研修計画より転記も可）
カキの品種、生理特性、栽培管理、経営上の特徴、先進地の事例紹介

授業内容（4時間を1回分とした内容）	
第1回（4時間）	講義：生理特性と栽培管理（結実管理、整枝せん定）の理解
第2回（4時間）	講義および実習：脱渋方法の理解と脱渋処理の実施
第3回（4時間）	講義：品種特性の理解
第4回（4時間）	校外学習 今津カキ産地の概要の理解

使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入
自作資料

到達目標
カキ栽培に必要な基本的事項の理解と習得を促し、カキ栽培に関心を持ってもらう。

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）
○記述テスト ○出欠状況 ○提出物の有無と内容
○授業態度

評価基準
本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

滋賀県立農業大学校シラバス 606

講座名	イチジク栽培	担当	県農業技術職員	実務経験	有 無
科目の種別	教養 共通 専攻	対象学生	1年 2年 就農		
学期	前期 後期	時間数（単位数）	16時間（1単位）		
授業形態（○記入）	講義 演習 実験実習 見学				

科目内容（教育研修計画より転記も可）

イチジクの栽培状況、品種や生理生態、栽培管理と病虫害、
経営上の特徴、先進地の事例紹介、栽培管理の演習

授業内容（4時間を1回分とした内容）

第1回（4時間）	イチジクの歴史、特徴、品種、用途、産地と生産量、作型等
第2回（4時間）	イチジクの栽培方法と病虫害
第3回（4時間）	新たな栽培方法と先進地の事例紹介および現地見学
第4回（4時間）	模擬試験・現場実習（せん定・挿し木など）
第5回（4時間）	
第6回（4時間）	
第7回（4時間）	
第8回（4時間）	

使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入

- 『イチジクの作業便利帳』 農文協
- 滋賀県農業経営ハンドブック

到達目標

- イチジクの生理生態等についての基礎的な知識が身についている。
- イチジクの栽培についての基礎的な知識や栽培技術が身についている。
- イチジクの産地形成や経営について理解ができている。

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）

- 記述テスト
- 出欠状況
- 授業態度

評価基準

本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

滋賀県立農業大学校シラバス 607

講座名	ブルーベリー栽培	担当	県農業技術職員	実務経験	☒ 有	☐ 無
-----	----------	----	---------	------	------------------------------------	-------------------------

科目の種別	教養 共通 ☒ 専攻	対象学生	1年 ☒ 2年 就農
学期	☒ 前期 後期	時間数（単位数）	16時間（1単位）
授業形態（○記入）	☒ 講義	演習 実験	実習 ☒ 見学

科目内容（教育研修計画より転記も可）

ブルーベリーの品種、生理特性、栽培管理、経営上の特徴、先進地の事例紹介

授業内容（4時間を1回分とした内容）

第1回（4時間）	経営のポイント①（種類別の特性、土壌条件、水分条件）
第2回（4時間）	経営のポイント②（有機物マルチ、収穫作業）
第3回（4時間）	高品質果実多収技術
第4回（4時間）	先進経営体の視察
第5回（4時間）	
第6回（4時間）	
第7回（4時間）	
第8回（4時間）	

使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入

○ブルーベリーの作業便利帳（農文協）

到達目標

- ブルーベリーの生態が理解できる
- ブルーベリーを経営品目とする際のポイントが理解できる

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）

- 記述テスト
- 出欠状況
- 授業態度

評価基準

本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

滋賀県立農業大学校シラバス 608

講座名	各種果樹栽培	担当	県農業技術職員	実務経験	有	無
-----	--------	----	---------	------	--------------	---

科目の種別	教養 共通 専攻	対象学生	1年 2年 就農
学期	前期 後期	時間数（単位数）	16時間（1単位）
授業形態（○記入）	講義 演習 実験 実習 見学		

科目内容（教育研修計画より転記も可）

ウメ、スモモ、リンゴ、オウトウ、カンキツ類等の栽培概要
先進地の事例紹介

授業内容（4時間を1回分とした内容）

第1回（4時間）	カンキツ類、リンゴ等の栽培適地、栽培に適する気象条件等について
第2回（4時間）	ウメの結果習性、栽培管理について
第3回（4時間）	スモモ、オウトウの結果習性、栽培管理について
第4回（4時間）	カンキツ類、キウイ、リンゴの結果習性栽培管理について
第5回（4時間）	
第6回（4時間）	
第7回（4時間）	
第8回（4時間）	

使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入

果樹栽培の基礎（農文協）

到達目標

○上記果樹類について結果習性と栽培管理について基礎的な知識が身についている。

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）

○記述テスト ○出欠状況 ○提出物の有無と内容
○授業態度

評価基準

本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

滋賀県立農業大学校シラバス 609

講座名	果実の化学	担当	県農業技術職員	実務経験	☒ 有 ☐ 無
-----	-------	----	---------	------	--

科目の種別	教養 共通 ☒ 専攻	対象学生	1年 ☒ 2年 就農
学期	☒ 前期 後期	時間数（単位数）	16時間（1単位）
授業形態（○記入）	☒ 講義	演習	実験 実習 見学

科目内容（教育研修計画より転記も可）
果実収穫後の生理的変化と追熟、貯蔵、鮮度保持等の方法

授業内容（４時間を１回分とした内容）	
第１回（４時間）	果実の種類、成熟と化学成分、食味に影響する成分について
第２回（４時間）	収穫適期、収穫後の変化、呼吸作用、貯蔵条件について
第３回（４時間）	果実の収穫とエチレン、その他植物ホルモンについて
第４回（４時間）	包装資材、ＣＡＳ冷凍、１-ＭＣＰ等新技術について

使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入
果実の機能と科学 佐藤三郎 朝倉書店、果樹栽培の基礎 杉浦明 農山漁村文化協会、農業技術大系果樹編8共通技術農山漁村文化協会、H24年度果樹推進部会資料 小川一紀 農研機構を参考に資料を作成

到達目標
☐ 果実の成熟に伴う化学成分の変化を理解している。 ☐ 収穫後の果実の変化、鮮度保持、貯蔵方法の知識が身についている。 ☐ 果実の成熟とエチレン、その他植物ホルモンの知識を身につけている。 ☐ 包装資材の種類や鮮度保持の新技术について理解している。

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）
☐ 記述テスト ☐ 出欠状況 ☐ 提出物の有無と内容 ☐ 授業態度

評価基準
本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

滋賀県立農業大学校シラバス 610

講座名	植物病理	担当	製薬会社顧問	実務経験	有 無
科目の種別	教養 共通 専攻	対象学生	1年 2年 就農		
学期	前期 後期	時間数（単位数）	16時間（1単位）		
授業形態（○記入）	講義 演習 実験 実習 見学				

科目内容（教育研修計画より転記も可）

作物保護の重要性，病気の基礎知識，伝染方法，病害の原因と診断，病害の発生と環境条件，作物保護の手段

授業内容（4時間を1回分とした内容）

第1回（4時間）	作物保護の重要性・植物病理学とは
第2回（4時間）	植物病害の基礎知識－病原体各論（1）（2）
第3回（4時間）	植物病害の基礎知識－感染と発病
第4回（4時間）	病害の伝染・病害の発生と環境条件病害の発生と環境条件・病害の診断作物保護の手段（1）

使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入

○ 毎回プリントを配付する。参考図書も講義の中で適宜紹介する。

到達目標

- 作物保護の重要性について理解することができる
- 各種作物の病害をひきおこす病原体の分類上の位置，生物学について理解することができる
- 病害の伝染，病害の発生と環境条件，病害の診断について理解することができる
- 作物保護のさまざまな手段について理解することができる

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）

- 記述テスト ○ 出欠状況 ○ 提出物の有無と内容
- 授業態度

評価基準

本講座は，講義を主とする科目であることから，評価は筆記試験やレポート等の成績のほか，出席日数，受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により，50点以上を合格とし，50点未満を不合格とする。なお，成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について，本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし，追試験による合格の評価は可とする。

滋賀県立農業大学校シラバス 611

講座名	応用昆虫	担当	県農業技術職員	実務経験	☒ 有	☐ 無
科目の種別	教養 共通 ☒ 専攻	対象学生	☒ 1年	☐ 2年	☐ 就農	
学期	前期 ☒ 後期	時間数（単位数）	16時間（1単位）			
授業形態（○記入）	☒ 講義	☒ 演習	☐ 実験	☐ 実習	☐ 見学	

科目内容（教育研修計画より転記も可）

害虫の基礎知識、害虫の診断と発生予察

授業内容（4時間を1回分とした内容）

第1回（4時間）	昆虫の起源と人類との係わり、昆虫の種の多様性と分類体系
第2回（4時間）	基本的な害虫管理手法と総合的病害虫防除（IPM）の概念
第3回（4時間）	各種害虫防除法と殺虫剤抵抗性
第4回（4時間）	主要な農業害虫の生態と生態を考慮した防除技術
第5回（4時間）	
第6回（4時間）	
第7回（4時間）	
第8回（4時間）	

使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入

- ・自作のプリント資料（参考図書：「植物防疫講座（害虫・有害動物編）」日本植物防疫協会、「現代応用昆虫学」朝倉書店 他
- ・減農薬害虫防除DVD（農文協）

到達目標

- 日頃の農作業実習等で必要となる害虫や天敵等への知識を身につける。
- DVDの映像や画像等の視覚的な学習を取り入れることで、害虫や天敵等をじっくり観察できる力を身につける。

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）

- ☐記述テスト ☐出欠状況 ☐提出物の有無と内容
- ☐授業態度

評価基準

本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

滋賀県立農業大学校シラバス 612

講座名	果樹病虫害	担当	県農業技術職員	実務経験	有	無
-----	-------	----	---------	------	-------------------------	---

科目の種別	教養 共通 専攻	対象学生	1 年 2 年 就農
学期	前期 後期	時間数（単位数）	1 6 時間（1 単位）
授業形態（○記入）	講義 演習 実験 実習 見学		

科目内容（教育研修計画より転記も可）
○病虫害・雑草の基礎知識と防除対策
○農薬の知識と適正使用
○主要病害の診断と総合的防除方法

授業内容（４時間を１回分とした内容）	
第１回（４時間）	I P Mについて
第２回（４時間）	化学合成農薬削減技術について、農薬の適正使用について
第３回（４時間）	農薬抵抗性について
第４回（４時間）	代表的な病害の被害と診断、病原菌の生態や発生条件と対策
第５回（４時間）	
第６回（４時間）	
第７回（４時間）	
第８回（４時間）	

使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入
○平成31年度版果樹防除暦（滋賀県果樹組合連合会）
○平成31年度農作物病虫害雑草防除基準
○環境こだわり農業営農技術指針
○自作資料（IPMについて、農薬の調整法、農薬の剤型、農薬抵抗性等）

到達目標
○果樹病虫害についての基礎的な知識が身についている。
○総合的な病虫害防除対策について基礎的な知識が身についている。
○農薬を適正に使用できる知識が身についている。

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）
○記述テスト ○出欠状況 ○授業態度

評価基準
本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

滋賀県立農業大学校シラバス 613

講座名	果樹経営Ⅰ	担当	県農業技術職員	実務経験	有	無
科目の種別	教養	共通	専攻	対象学生	1年	2年 就農
学期	前期	後期	時間数（単位数）		16時間（1単位）	
授業形態（○記入）	講義	演習	実験	実習	見学	

科目内容（教育研修計画より転記も可）

1. 果樹経営の特徴について
2. 全国の先進事例研究
3. 果樹経営収益性について
4. 県内先進事例見学

授業内容（4時間を1回分とした内容）

第1回（4時間）	果樹経営の特徴について、全国の先進事例研究
第2回（4時間）	全国の先進事例研究
第3回（4時間）	果樹経営収益性の計算演習（経営ハンドブックを用いた経営計算演習）
第4回（4時間）	県内先進事例見学

使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入

- ・全国果樹技術・経営コンクール受賞者概要
- ・滋賀県経営ハンドブック

到達目標

- ・全国の先進事例研究により、自らの経営に生かすべき点を明確にする。
- ・計算演習を通じて、果樹経営の収益最大化の方策を理解する。
- ・県内先進事例研究により、先進農家との結びつきを強めるとともに、就農計画に生かすべき内容を学び取る。

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）

- 授業中に作成するレポート
- 出欠状況
- 提出物の有無と内容
- 授業態度

評価基準

本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は授業ごとに提出するレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出によりレポートの再提出を行う。再提出は原則1回とし、再提出による合格の評価は可とする。

滋賀県立農業大学校シラバス 614

講座名	果樹経営Ⅱ	担当	農業法人社員	実務経験	有	無
-----	-------	----	--------	------	---	---

科目の種別	教養 共通 専攻	対象学生	1年 2年 就農
学期	前期 後期	時間数（単位数）	16時間（1単位）
授業形態（○記入）	講義 演習 実験 実習 見学 実技		

科目内容（教育研修計画より転記も可）

果樹経営指標と経営試算

授業内容（4時間を1回分とした内容）

第1回（4時間）	経営者能力を伸すこと、農家派遣研修を経営に生かすこと
第2回（4時間）	市場出荷と直売のメリット、経営ハンドブックの理解と活用
第3回（4時間）	ブドウ（大粒種）の収量・収益と育成費、根域制限栽培の例
第4回（4時間）	果樹栽培の所得向上
第5回（4時間）	
第6回（4時間）	
第7回（4時間）	
第8回（4時間）	

使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入

- 自作プリント
- 経営ハンドブック

到達目標

実際に就農した時の果樹経営をイメージしての内容とし、コスト管理・労務管理・販売調整・自己管理などについて経営能力の向上を図る。また、本県作成の「経営ハンドブック」の理解を促し、経営面での捉え方について考え、経営センスの向上を図る。

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）

- 記述テスト ○ 出欠状況 ○ 提出物の有無と内容
- 授業態度

評価基準

本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

滋賀県立農業大学校シラバス 615

講座名	専攻演習 (ゼミナール)	担当	県農業技術職員	実務経験 ☒ 有 ☐ 無
-----	-----------------	----	---------	---

科目の種別	教養 共通 ☒ 専攻	対象学生	☒ 1年 ☒ 2年 就農
学期	☒ 前期 ☒ 後期	時間数(単位数)	160時間(5単位)
授業形態(○記入)	講義 ☒ 演習 実験 実習 見学		

科目内容(教育研修計画より転記も可)

- ① 選定した課題について文献を収集・整理し、論点整理をするとともに発表討議を行う。
- ② 技術・経営について検討を加え、常に問題意識を持つように努め、発表力の向上を図る。

授業内容(4時間を1回分とした内容)

第1～16回 (64時間)	1年次において選定した課題について文献を収集・整理し、論点整理をするとともに、発表討議を行う。
第17～40回 (96時間)	2年次において選定した課題について文献を収集・整理し、論点整理をするとともに、技術・経営について検討を加え、発表力の向上を図る。

使用教科書(テキスト)書籍名、自作資料の内容を記入

なし

到達目標

課題を発見し、解決に向けた情報収集、整理して取り組むことができる。

評価で重視する内容(テスト・レポート等の有無、その他(授業態度・出欠))

☐授業態度 ☐出席日数

評価基準

本講座は、実習科目であることから、評価は出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。

滋賀県立農業大学校シラバス 616

講座名	実習およびプロジェクト学習	担当	県農業技術職員	実務経験 ☒ 有 ☐ 無
-----	---------------	----	---------	---

科目の種別	教養 共通 ☒ 専攻	対象学生	☒ 1年 ☒ 2年 就農
学期	☒ 前期 ☒ 後期	時間数（単位数）	800時間（25単位）
授業形態（○記入）	講義 演習 実験 ☒ 実習 見学		

科目内容（教育研修計画より転記も可）
農作物栽培の基本技術を習得するとともに、自らの経営計画に基づく実践的技術や専門知識の理論づけを行い各自がプロジェクトとしてまとめる。

授業内容（4時間を1回分とした内容）	
第1～120回 （480時間）	1年次において、自身が定めた専攻で、農作物の基本技術を習得する。
第121～200回 （320時間）	2年次において、自らの経営計画に基づくプロジェクトの実施および取りまとめを行う。
使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入	
なし	

到達目標
課題解決に向けた取り組みを実施することができる。

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）
☐ 授業態度 ☐ 出席日数

評価基準
本講座は、実習科目であることから、評価は出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。

滋賀県立農業大学校シラバス 617

講座名	卒業論文	担当	県農業技術職員	実務経験	☒ 有	☐ 無
-----	------	----	---------	------	------------------------------------	-------------------------

科目の種別	教養 共通 ☒ 専攻	対象学生	1年 ☒ 2年 就農
学期	☒ 前期 ☒ 後期	時間数（単位数）	160時間（5単位）
授業形態（○記入）	講義 ☒ 演習 実験 実習 見学		

科目内容（教育研修計画より転記も可）
① プロジェクトの内容の検討と課題の決定 ② 課題解決し、プロジェクトとしてとりまとめる ③ 報告会での発表と論文として発刊する

授業内容（４時間を１回分とした内容）	
第1～40回 (160時間)	内容の検討、課題の決定、とりまとめと発表
使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入	
なし	

到達目標
課題解決に向けた取り組みを分かりやすく発表することができる。

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）
○ 授業態度 ○ 出席日数

評価基準
本講座は、実習科目であることから、評価は出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。